

高丘浄水場系のおいしい水ができるまで

おおむね苫小牧川を境に東側の市民には、勇払川、幌内川からの水を供給しています。

高丘浄水場 かんそく 緩速ろ過方式

幌内川と勇払川の原水を、緩速ろ過方式を用いて水道水に処理します。1日に4~5m流れる緩やかな速さで「おいしい水」を作っています。

1 原水量水井



原水の量を測定し、6つのろ過池へ送る量を調整します。

2 緩速ろ過池

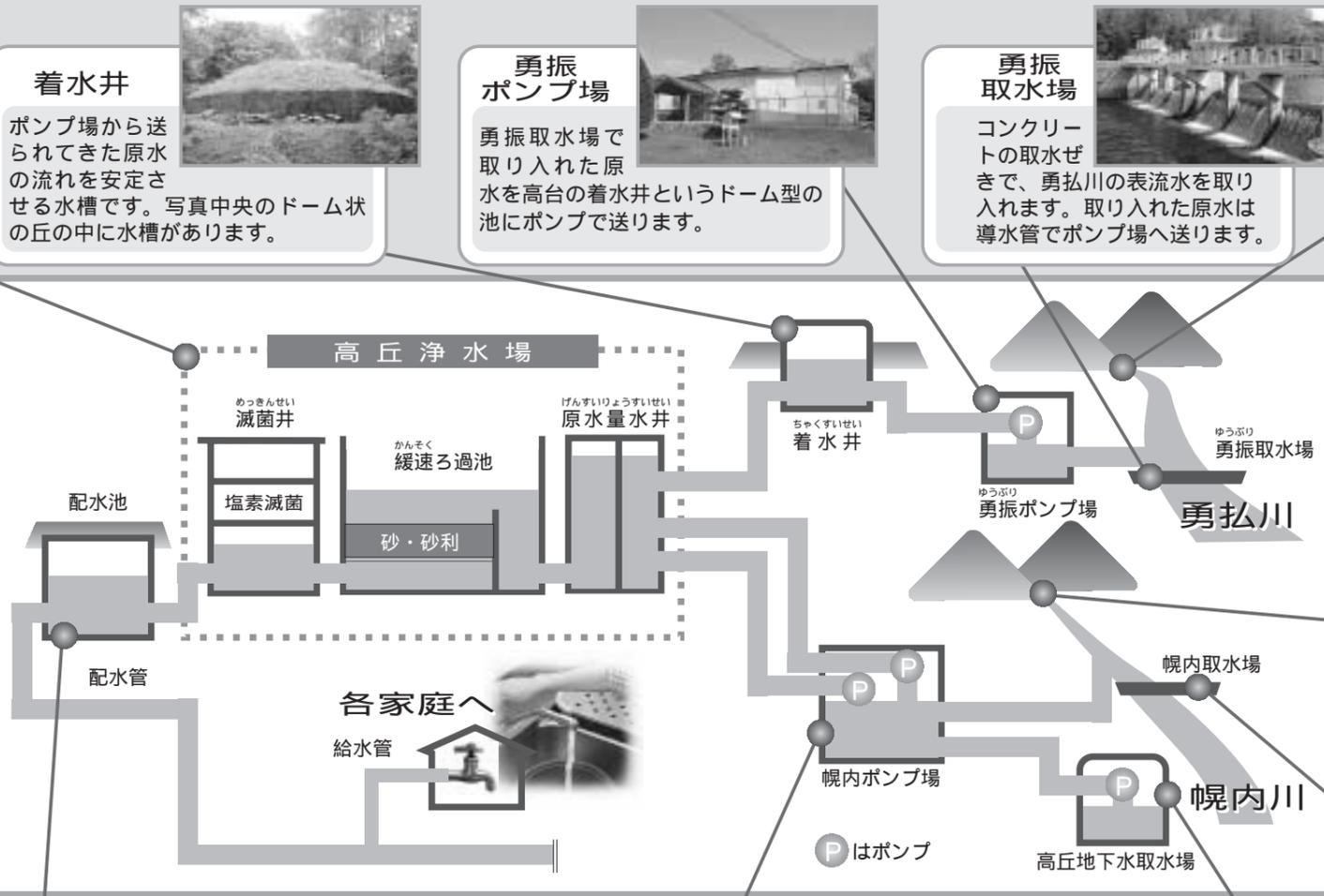


水を砂と砂利の層と微生物のろ過膜に通します。左右に6面の池があります。

3 滅菌井



塩素を加え混合し、完全な水道水にします。中央のパイプより塩素が出ています。



配水池

水を安定的に市内へ配水するため、水をためておく池です。浄水場前の地下(写真の地下)にあります。

幌内ポンプ場

幌内取水場で取り入れた原水を、浄水場内の原水量水井へポンプで送ります。

高丘地下水取水場

大雨や災害などの非常時に地下水を取水し、高丘浄水場に送ります。

勇払川源流部

勇払川は延長22kmの2級河川で、国道276号線の脇に水源があります。苫小牧の水道水の始まりがここにありま

幌内川源流部

幌内川は延長4.7kmの2級河川で、北海道大学苫小牧研究林の北西部に水源があります。源流部は手付かずの自然があります。

幌内取水場

コンクリートの取水せきで、勇振取水場と同様に表流水を取り入れます。取り入れた原水は導水管でポンプ場に送ります。

おいしい水のまち苫小牧。その水を知ろう！
おいしい水ができるまで

詳細 上下水道部総務課 電話(32)6628

おいしい水の秘密

おいしい水とは安心して飲むことができ、水の中に味を良くする成分が適度に含まれている水のことです。苫小牧の水道水は、厚生省(現在の厚生労働省)の「おいしい水研究会」によって、人口10万人以上の198都市の中から「水道水のおいしい都市」32都市の一つに選ばれ、全国的においしい水道水であることが認められました。

水道水ができるまで

幌内川、勇払川の水は高丘浄水場へ、錦多峰川の水は錦多峰浄水場へ導水され、水道水に処理されます。水質や需要の特性に合わせて異なる浄水方法により、安全で快適な水道水を作っています。

高丘浄水場系

高丘浄水場では、緩速ろ過方式で水道水を作っています。緩速ろ過方式は、水を緩やかな速度で細かな砂や砂利の層に通し、水をきれいにする方式です。砂層の表面に微生物の膜ができ、この膜の働きにより、濁り、臭味、細菌などが効果的に除去されます。そのため、塩素による消毒以外に薬品を使用することなく、安全でおいしい水になります。この方式には広大な敷地ときれいな原水が必要であるため、この浄水方法を導入している施設は全国で3%程度にとどまり、自然豊かでない水のおいしい水からこそできる水です。

一日の平均給水量は約3万m³で、4つある配水池には約13時間分の水が蓄えられます。出来上がった水道水は、市内中央・東部地区に給水しています。